

平成 14 年度 第 2 回 理事会 抄録

日時：平成 14 年 7 月 20 日（土）P M 14:00 ~ 18:50

場所：（社）日本作業療法士協会 7 階 会議室

出席：杉原（会長）、佐藤（剛）、中村（春）（副会長）、
荻原（事務局長）、富岡、長谷川、古川（監事）、香
山、中村（茂）、日垣、曳地、比留間、深川（常務理
事）、岩瀬、大丸、長尾、山田、山根、山本（理事）、
石塚、小林、東、毛束、松房、岩崎、千島（部・委
員長）、大嶋（土会連絡協議会長）、宮前（36 回学会
長）

審議事項

- 1 . 第 37 回 総会 質疑 応答 内容 の 確認 と 対応（千島 総会
議事 運営 委員長）2002 年 5 月 30 日（木）16:28 ~ 18:
33 於：広島 国際 会議 場 フェニックス ホール、総会 参加
者 338 名、有効 委任 状 数 5,066 名、総会 総数 5,404
名（定足 数 5,059 名）質疑 応答 内容 役員 選挙 方法 の
件、診療 報酬 改訂 の件 支援 費 制度 について等。確認
と 対応 については 個別 議題 で 話し 合う。 承認
- 2 . 規約 改定（選挙 方法 ・ 名誉 会長 ・ 表彰）（松房 規約 委
員長）選挙 方法 ... 将来的 には 電子 投票 を 視野 に入れ、
全会 員 郵送 投票 とする。 名誉 会員 規程 ... 70 歳 以上、
年に 1 人 以内（初年度 は 人数 制限 しない）。特典 として
総会 に 出席 し 意見を 述べ る ことが できる が、議決 権 は
ない。 表彰 規程 別記 様式 改訂 ... 表彰 委員会 提案 の 様
式 に 改訂 する。 承認
- 3 . 学会 評議 委員会 答申 内容 の 確認（岩崎 学会 評議 委員
長）会 開催 に 関わる 学会 と 協会 の 連携 の あり方 学会
会 運営 の 手引き の 見直し 学会 補助 金 の 見直し 学会
長 の 選考 の あり方 学会 発表 の 資格 について 学会 評
議 委員会 の 機能 に 関すること 等 の 答申 内容 を 確認。さ
ら に 検討 する。 継続 審議
- 4 . 支援 費 制度 に対する 協会 対応（杉原 会長 ・ 中村（春）
副会長）対応 策 として 制度 に 関する 協会 意見 書 を 8
月 三役 会 で 作成、9 月 の 理事会 に 提示 する。サービ
ス 領域 へ の 作業 療法 士 の 配置 促進 サービス の 質 の 確

保・向上 卒業前教育への組み入れ等。渉外部で情報収集、将来的には新設部署、たとえば障害福祉部（仮称）の設置を考える。承認

5. 賛助会員及び正会員の入退会（荻原事務局長）4/1～7/17までの新入会者合計1,917名。退会者1名（死亡退会）7/17現在会員数17,007名。養成校6校、企業1社より賛助会員入会希望（C会員）。情報が不明瞭なので、資料を再提出する。継続審議

6. 第39回学会について（岩崎学会評議委員長）第39回学会候補地として茨城（会場：つくば学園都市）が立候補、実態調査の上、再度提案。継続審議

7. 「作業療法全書」の見直しについて（岩瀬教育担当理事）ICIDHの記載箇所をチェック。「補遺」の形で情報が入るように出版社にお願いする。次の全書の編集に際しては使われている言葉の変化や法律の変化を盛り込んだ形で編集作業をしていただく。教育部で案をつくり理事会に提示する。承認

報告事項

1. 第36回日本作業療法学会報告（宮前学会長）参加者数2,703名。運営についてPCOの（株）インターグループに依頼。スカイパーフェクより20講座のビデオを8月末にもらい、5セットダビングし、学校、県士会で保有する予定。反省点として会場設定が適切でなかったため狭すぎたりした。ポスター展示に不備な点があった等。全般的には充実した学会であった。

2. WFOT代表者会議及び国際作業療法学会報告（佐藤（剛）副会長）第25回代表者会議6月16日、21日於Marie Fred日本代表：佐藤剛、佐藤善久。WFOT教育最低基準承認、役員選挙等。第13回国際OT学会於：Stockholm日本作業療法士協会のブース展示。自助具に関心が高かった。

3. 診療報酬改訂その後の状況（東保険部長）学会時に都道府県連絡協議会主催実務者研修会の参加者からのアンケート結果、19県士会から回答。現状を把握して

いない県士会が多い。情報のやりとりが課題。実施体制の整備にとまどいがある。介護保険へのシフトの問題等。

- 4 . 教育部活動（生涯教育システム・教育基準・臨床教育手引き）（小林教育部長）協会版教育最低基準、臨床実習の最低基準、生涯教育単位認定制度改正、生涯教育システムについて意見を8月10日までに担当の委員長宛、システムの件については小林教育部長まで意見を寄せてほしい。
- 5 . 国際医療技術交流財団研修員受入れについて（佐藤（剛）副会長）バングラデシュ、スリランカより各1名。研修期間9/9～10/31、研修先は未定。
- 6 . 飯田賞奨励賞（荻原事務局長）中村（春）副会長が奨励賞受賞。
- 7 . その他 * 各部より調査部へ情報を流す場合は、各部の調査部担当を通して情報を流してほしい。